

【事例43】薬の包装シートは切り分けないで！

【事例】朝食の後、いつもの内服薬を家族が切り取って渡してくれた。テレビを見ながら、うっかり包装シートごと飲み込んでしまった。のどに何かつかえた感じがして近所の病院に行ったら、救急車で大病院に転送され、胃カメラを使って食道から薬のシートを回収してもらった。（90歳代：男性）

【対処法】① 最近の錠剤は、プラスチックにアルミなどを貼りつけたPTP包装シートに入っています。1錠ずつに切り離せないよう作られています。旅行などで持ち歩くために勝手に切り離すことがあります。

② 高齢者や子供がPTPシートごと飲み込んでしまうと、切った角が非常に鋭くなっており、ノドや食道を傷つけてしまいます。X線写真にも写りにくいため、胃カメラなどで取り出すことになって、体にとっても負担がかかります。

③ 高齢者や子供のまわりの人は、薬などの管理には十分注意して下さい。薬の包装シートは絶対に切り離さないことです。万が一間違っただけで飲み込んだ場合は、無理に吐かせたりしないで医療機関にかかりましょう。その際、飲み込んだものと同じものを持参すると良いでしょう。

※問題があれば、企画課の消費相談窓口にご相談しましょう。秘密は守られます。